

## 新年のご挨拶



参議院議員 進藤 金日子

新年明けましておめでとございます。土地改良建設協会の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御世に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈年申し上げます次第です。他方、昨年も多く自然災害が発生しました。被災された全の方々に心からお見舞い申し上げます。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」（初回開始後百周年）も行われます。国家的な行事が開催されますが、諸行事の成功にむけて、皆様のご協力をお願い致し、また今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和二度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で六、五一五億円（元年度補正一、五四二億円、二年度当初一、四、四三三億円、二年度当初（臨時・特別の措置）一、五四〇億円）を確保することができました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。予算は、人任せでは確保できない、自ら汗をかき実働して確保する、まさに「闘う土地改良」の成果です。この貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置

かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件が不利な地域の振興対策が手厚く措置されたことです。特に「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の中で、予算額は少なくても中山間地域対策に配慮がなされたことは特筆すべきことだと受け止めています。今回の予算によって、土地改良が更に促進されますが、この貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待にこたえていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定されましたが、整備促進にはなお多くの課題が残されています。しっかりと現場の実態に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく、努力してまいります。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決に向けて専心努力してまいります。この覚悟ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。